

2024年2月5日



阪神甲子園球場100周年特別企画 甲子園歴史館「台湾 嘉義農林特別展」を開催

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：久須勇介）が運営する「甲子園歴史館」では、阪神甲子園球場100周年特別企画として、台湾の嘉義市政府および国立嘉義大学協力のもと、「台湾 嘉義農林特別展」を2月7日（水）から4月7日（日）まで開催します。

この特別展では、1931（昭和6）年に台湾代表として初めて甲子園に出場し、準優勝を果たした、台湾野球の礎を築いたとされる「嘉義農林」（※）の軌跡を辿り、日台野球の歴史を紹介します。また、今回の特別展限定で台湾から特別にお借りした「朝日牌（準優勝盾）の復刻版」、「1931（昭和6）年 嘉義農林—神奈川商工の試合球」など、嘉義農林ゆかりの貴重な史料を展示します。

展示の概要は次ページのとおりです。



「朝日牌（準優勝盾）の復刻版」（左）

「1931（昭和6）年 嘉義農林—神奈川商工の試合球」（右）



告知ビジュアル（イメージ）

（※）1931年に台湾代表として全国中等学校優勝野球大会（現：全国高等学校野球選手権大会）に初出場した嘉義農林学校は、日本人監督・近藤兵太郎が鍛え上げた、日本人、漢民族、台湾の原住民の三民族混成チームで準優勝を果たしました。2014年には、この実話をもとにした映画『KANO 1931 海の向こうの甲子園』が公開され、台湾で大ヒットしました。

【展示の概要】

【展示期間】 2月7日（水）～4月7日（日）

※展示期間は変更となる場合があります。

【主な展示内容】

- ・嘉義農林 朝日牌（準優勝盾）の復刻版
- ・第17回全国中等学校優勝野球大会の試合球（嘉義農林-神奈川商工）
- ・嘉義農林 トロフィー（嘉義市野球協会が贈呈）

※期間中に展示内容が変更となる場合があります。

【協力】 嘉義市政府、国立嘉義大学

【展示場所】 甲子園歴史館内 企画展コーナー

【入 場 料】 甲子園歴史館入館料に含まれます（別途料金は不要）。

◆ 甲子園歴史館 営業のご案内

<営業時間> 10:00～18:00（2月は10:00～17:00）

選抜高等学校野球大会期間中（休養日を含む）9:00～18:00

※入館は閉館時間の30分前まで

※大会期間中、営業時間が延長となる場合あり。

<休 館 日> 月曜日（試合開催日、祝日を除く。）

※選抜高等学校野球大会期間中（休養日を含む。）の月曜日は開館

<入 館 料> おとな900円、高校生700円、こども500円（税込み）

<場 所> 甲子園プラス内 甲子園歴史館

<お 問 合 せ> 0798-49-4509（営業時間と同じ）

以 上